



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3544回例会・2026年3月25日

本日のプログラム

「Passion Talk」

**UNITE
FOR
GOOD**

R. I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3543回例会（3月18日）の記録

ゲスト 米山奨学生 北見工業大学 テリゲル様
 米山奨学会 学友 北見工業大学 タン・ペイユー様
 タン・ペイジュ様(妹) ガン・チャイフン様(母)
 北見工業大学 企画総務課 課長 山本 渉様
 北見工業大学 企画総務課 係長 反保 聡史様

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。本日はご来場ありがとうございます。本日の職場移動例会と見学会をお受けいただきました榮坂学長、関係者の皆様にご挨拶申し上げます。北見工業大学は地域に根ざした学術、そして研究の拠点として多くの優秀な人材を育てていただいていることに、改めて感謝申し上げます。私達ロータリークラブとしては奉仕の理念のもと、地域の発展に寄与することを目的として活動しております。その中で、ロータリーと教育機関との連携は極めて重要であり、未来を担う若者達を育てていただいている存在として大変心強く思っています。本日の見学会を通じて最先端の研究や教員の現場に触れさせていただくことで、私達自身の見解を深めていけると思っています。

また、米山奨学生との交流に関しても、新たな連携を深められる可能性を秘めていると思っております。ここで、3月に北見を離れられます米山学友であるタン・ペイユーさんにご挨拶をいただきます。

米山奨学会 学友 タン・ペイユー 様

今年の3月に卒業いたします、北見工業大学大学院博士課程のタン・ペイユーと申します。4月からは東京本社の会社に就職し、愛媛に行くことになっています。また機会がありましたら北見に遊びに来たいと思っていますので、これからも皆さんよろしくお願いたします。

委員会報告 主藤副会長

3月14日(土)に地区チームラーニングセミナーが旭川で開催されました。そこで、次年度に向けて、山本ガバナーエレクトよりガバナー補佐の委任状をいただきましたのでご報告いたします。また、15日(日)には会長エレクトラーニングセミナーが開催され、本格的に次年度に向けてスタートいたしました。

プログラム

「職場移動例会」 (北見工業大学)



北見工業大学 学長 榮坂 俊雄 会員

皆さん、こんにちは。ようこそおいでいただきました。お手元にグリーン冊子をお渡ししていますが、そちらには企業向けに就職した学生の動向などが書いてあります。この4月から学科改組があり、内容がかなり変わってしまうことをご承知おきください。それでは簡単に大学の紹介をさせていただきます。色々な報道等にありましており、18歳人口が大幅に減り、また若手の教員も減っている状況ですので、大学としては非常に大変です。国立大学は20年前

に法人化して企業的になり、そういう意味では自由度は増えたのですが、文科省からの意向もあり、その自由度がなかなか活かせない状況にあります。交付金も減ってきており色々な状況で大変ではありますが、皆さんの企業も当然同じような状況ですので、そのようなことを踏まえながら明るい未来に向かってやっていきたいと思っております。まず教育に関しては、オホーツクの環境の中で皆さんと共に人材育成をしていき、産業的などころも高めていきたいと思っております。我々が出来ることは教育であり、高齢化や労働者不足という状況の中で地域のことをよく知り、地域を盛り上げることでできる学生を育成していきます。そこで4月から学科改組を行ない、工学をしっかりと学んだ上で、社会で実装できる人材の育成を目指します。卒業生が北海道の魅力を理解して、北海道で活躍していただく人材を育成したいということで、色々と組織や教育の内容を変えています。研究に関しても、ローカルの身近なエネルギーや食料を大事にし、地域とともに歩んでいきたいと思っております。お手元の資料に学科改組や研究、地域との関わりについてご紹介しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。私からの説明は以上となります。ありがとうございました。

見学風景



会員の輪

2019～2021年の2年間、タン・ペイユ（マレーシア）さんの米山記念奨学会カウンセラーを務めさせて頂き、その後も7年間関わらせて頂きました。北見市での生活も卒業と共にいよいよ就職で北海道を離れます。これからの若き世代に幸あれ！

（主藤 雅裕）



【次回4月1日】

「Passion Talk」

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

親睦の機会

ロータリアンの多くは、訪れた機会を逃さず、十分生かすことができたからこそ、事業や専門職の管理職で成功しています。毎週1回、クラブ例会でロータリーの親睦の機会が訪れていますが、必ずしもすべての会員がこの機会を生かしているわけではありません。